

「イラン映画を福岡の宝物に(AIFM)」プロジェクト東京上映会
The Archiving of Iranian Film Masterpieces in Fukuoka Project

イラン映画の名匠マジッド・マジディ監督特集 Majid Majidi Selection

日程:2026年6月9日(火)~6月13日(土)5日間 会場:アテネ・フランセ文化センター(東京・御茶ノ水)

『運動靴と赤い金魚』(1997)、『太陽は、ぼくの瞳』(1997)、『少女の髪どめ』(2001)、『三度モントリオール世界映画祭グランプリを受賞するなど国際的に高く評価されたイラン映画の名匠マジッド・マジディMajid Majidi監督の最近作2作品『預言者ムハンマド』(2015)、『サン・チルドレン』(2020)が、『イラン映画を福岡の宝物に(AIFM)』プロジェクトの一環として福岡市総合図書館に新たに寄託されることとなりました。これを記念してマジッド・マジディ監督作品の特集上映を行います。

●上映作品:8作品(日本語字幕)

バデク(邦題:バダック、砂漠の少年) Baduk 1992(89分/35mm)

父 The Father 1996(92分/35mm)

バラン(邦題:少女の髪どめ) Baran 2001(100分/35mm)

裸足でヘラートまで Barefoot to Herat 2002(65分/デジタル)

僕らのオリンピック Olympic in Camp 2002(5分/デジタル)

柳の木のように The Willow Tree 2005(97分/35mm)

預言者ムハンマド Muhammad: The Messenger of God 2015(178分版/デジタル)

サン・チルドレン Sun Children 2020(99分/デジタル)

主催:「イラン映画を福岡の宝物に(AIFM)」プロジェクト

ATHÉNÉE FRANÇAIS CULTURAL CENTER アテネ・フランセ文化センター

日本映像学会アジア映画研究会

Organizer: The Archiving of Iranian Film Masterpieces in Fukuoka (AIFM) Project

Athénée Français Cultural Center

Asian Cinema Study Group of the Japan Society of Image Arts & Sciences

協力:福岡市総合図書館

映画美学校
THE FILM SCHOOL OF TOKYO

スモールトーク

With the Cooperation of: Fukuoka City Public Library
The Film School of Tokyo
Small Talk

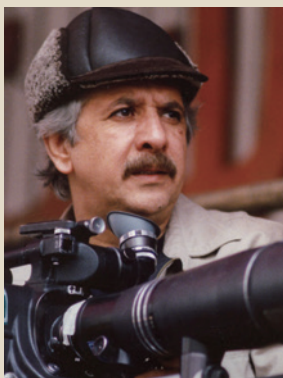


「バデュク」

マジッド・マジディ(Majid Majidi)監督

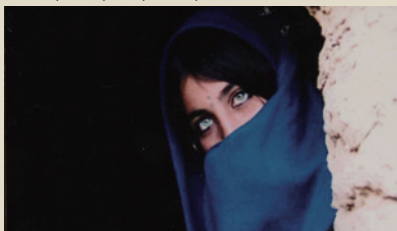
1959年テヘラン生まれ。高校時代から演劇に興味を持ち、俳優や演出家として活躍。その後、映画界に活動を移し、俳優として活躍。特に、イラン映画界の重鎮モフセン・マフマルバフ監督の初期作品『ボイコット』(1985)に出演した経験は、彼が監督業へと転身する大きな糧となった。1992年、初の長編監督作品『バデュク(邦題:バダック、砂漠の少年)』を発表。この作品でカンヌ国際映画祭の監督週間に選出され、東京国際映画祭のヤングシネマ部門でも上映され、その才能を国際舞台に知らしめた。

その後、マジディの名を一躍世界に刻んだのは、1997年の傑作『天使のような子どもたち(邦題:運動靴と赤い金魚)』で、この作品はイラン映画史上初となるアカデミー外国語映画賞にノミネートされた。主な映画作品に『父』『バラン(邦題:少女の髪どめ)』『カラー・オブ・パラダイス(邦題:太陽は、ぼくの瞳)』『柳の木のように』『すずめの唄』『預言者ムハンマド』『サン・チルドレン』



裸足でヘラートまで

2002年/イラン/65分/カラー /デジタル



監督・プロデューサー:マジッド・マジディ
撮影:ソハイル・ノールズィー、モルテザ・ブルサマディ
録音:モハマド・レザ・デルバク
編集:ハッサン・ハッサンドースト

2001年の9.11ニューヨーク・テロの首謀者オサマ・ビンラディンをかくまうアフガニスタンのタリバン政権に対して、アメリカは10月に空爆を開始する。マジディ監督は2001年11月から翌年2月までに3度アフガニスタンを訪れて、難民キャンプや街の様子を撮影している。親を殺されてパンを得るためにヘラートまで長い距離を歩いて来る子どもたちや「神も世界も私たちが忘れてる」と現状を語る老人の声など、世界の無関心に対してできることは、この現実を伝えることしかないという信念で製作したドキュメンタリー。提供:福岡市総合図書館

僕らのオリンピック

2002年/イラン/5分/カラー /デジタル



監督・プロデューサー:マジッド・マジディ
撮影:モルテザ・ブルサマディ
録音:モハマド・レザ・デルバク
編集:ハッサン・ハッサンドースト

難民キャンプで地面に白いラインを引いてサッカーボールを蹴り、駆けっこをし、また綱引きやレスリングをして遊ぶ子どもたちの一時の喜びや平和を、拾い集めた弾丸の葉きょうで作った五輪に象徴させた短篇。提供:福岡市総合図書館

柳の木のように

2005年/イラン/ 97分/カラー /35mm



監督・脚本・プロデューサー:マジッド・マジディ
脚本:ファド・ナハス、ナーセル・ハーシェムザーデ
撮影:パフラム・バダフジャーニー、マフムード・カラーリー、モハマド・ダブディ
音楽:アーマド・ベジュマン
編集:ハッサン・ハッサンドースト
出演:パービズ・バラスツイ、ロア・ティムリアン、アーファリン・オベイスィー

大学でペルシャ詩を講じる教授ユーセフは、8歳で失明して37年間暗闇の中で生きてきた。妻や娘と幸せな生活を送っていたある時、生死にかかわる病氣と診断されてバリの病院に移される。検査の過程で体には問題はなく、角膜移植により視力が回復できることが判る。手術を受けてイランに戻ると、多くの人が喜びをもって迎えてくれた。しかし、盲目の時は自分の内面との静かな対話のみであったのが、再び光を得て重大な人生の危機が訪れる。提供:福岡市総合図書館

バデック (邦題:バダック、砂漠の少年)

1992年/イラン/89分/カラー /35mm



監督・脚本:マジッド・マジディ
脚本:セイエッド・メハジ・ジョジャイ
撮影:モハammad・ドルマネシュ
音楽:モハammad=レザ・アリゴリ
編集:ハッサン・ハッサンドースト
出演:モハammad・カセビ、メハロラ・マザルゼヒ、マリアム・タハン

パキスタン国境に近い貧しい村の少年ジャファールと妹ジャマルは、井戸掘り作業の事故で父を亡くし村を離れる。しかし、トラックに乗せてもらった二人は、運転手により人身売買組織に売られて離れ離れとなる。兄はパキスタンから荷物を運ぶバダックとして酷使される。仲間の少年から妹の居場所を知ったジャファールは、妹を助けるために単身船に乗り込むが…。バダックとは、国境を越えて密輸をおこなう人々のこと。マジディ監督の長編デビュー作で、カンヌ国際映画祭監督週間上で上映された。

提供:福岡市総合図書館

父

1996年/イラン/92分/カラー /35mm



監督・脚本:マジッド・マジディ
脚本:メーディ・ショジャイ
撮影:モーセン・ゾランヴァル
音楽:モハammad=レザ・アリゴリ
美術:ペーザド・カザジ
編集:ハッサン・ハッサンドースト
出演:ハッサン・サデキ、モハammad・カセビ、パリア・ヴシュ・ナザリエ

父を亡くし、母と小さな妹を支えるために出稼ぎに行った14歳のメヘロラが家に戻ってくると、母は警察官と再婚して夫の家に住んでいた。メヘロラは母に裏切られた気持ちになって、友だちと元の家に住み始めるが、病気をし母が夫の家に連れ帰る。病気が治ったメヘロラは、義父のピストルを盗んで友だちと南の地方まで逃げて行く。義父はバイクに乗って息子を探しに南へ向かう。息子と義父の葛藤が砂漠の中で力強く描かれる。

提供:福岡市総合図書館

バラン (邦題:少女の髪どめ)

2001年/イラン/100分/カラー /35mm



監督・脚本・プロデューサー:マジッド・マジディ
撮影:モハammad・タブディ
音楽:アーマド・ベジュマン
美術:ペーザド・カザジ
編集:ハッサン・ハッサンドースト
出演:ホセイン・アベディニ、ザーラ・バラミ
テヘランの建設現場で働くイラン人少年ラティフは、事故で動けなくなったアフガン難民の不法労働者に替わって来た息子ラーマトに自分のお茶くみ等の仕事を取られて、重い材料を運ぶ仕事に替えられてしまう。面白くないラティフだが、ラーマトが実は髪の長い少女で働くために男装していることを知り、アフガン難民に対する態度が急激に変わっていく。1979年のソ連軍のアフガニスタン占領により流入した難民のイランでの厳しい現実を描く。第25回モントリオール世界映画祭でグランプリを受賞。

提供:福岡市総合図書館

預言者ムハンマド

2015年/イラン/178分版/カラー /デジタル



監督・脚本:マジッド・マジディ
脚本:カムブジア・バルトウィ
撮影:ヴィットリオ・ストラーロ
音楽:A. R. ラフマーン
美術:ミルジェン・クレカ・カジャコウィク
編集:ロベルト・ベルビニャーニ
出演:メーディ・パクデル、アルレザ・ショジャーヌーリ、モーセン・タナバンデー

6世紀、商都メッカにエチオピアのアクスム王国の大軍がカーバ神殿を破壊するために進撃して来た。メッカの長老は神に祈るだけであったが、神の命により奇跡的なことが次々に起こり、アクスムの軍隊は全滅した。その一月後に、流星が降り注ぎ、天空に光が射した時に長老の孫が誕生して、ムハンマドと名付けられた。イスラム教の祖で預言者ムハンマドの少年期を描く。撮影や音楽等に世界的なスタッフが集結した歴史大作。

サン・チルドレン

2020年/イラン/99分/カラー /デジタル



監督・脚本・プロデューサー:マジッド・マジディ
脚本:ニマ・ジャヴィディ
撮影:フーマン・ベーマネシュ
音楽:ラミン・クーシャ
編集:ハッサン・ハッサンドースト
出演:ルホッラー・ザマニ、アリ・ナシリアン、ジャヴァード・エッザーティ

テヘランで、12歳の少年アリは病気の母を助けて一緒に暮らそうと、仲間と盗みや洗車で日銭を稼いでいた。ある日、裏

社会のボスから、ある場所の地下に「宝」が眠っているという話を持ちかけられる。宝への唯一の道は、恵まれない子どもたちのためにあるボランティア学校の地下にトンネルを作ることで、アリと3人の仲間は学校に通って、授業の合間に地下室で懸命に掘り進めるのだが…。アリ役の少年がヴェネチア映画祭で新人俳優賞を受賞。

マジッド・マジディ監督が描く「もうひとつのイランの姿」

—ショーレ・ゴルパリアン (イラン映画プロデューサー)

人々の日常や文化、静かな営みを映し出す作品の数々は、日本の観客に遠くアジアの西端に生きるイランの人々の息づかいを伝え、見えない距離をそっと縮めてきました。

中でも、マジッド・マジディ監督の映画は、子どもたちのまなざしや家族の絆を通して、人間のやさしさと尊厳を静かに描き出します。

今回の上映にあたり、AIFM(「イラン映画を福岡の宝物に」)プロジェクトは福岡市総合図書館に所蔵されるマジッド・マジディ監督作品のコレクションに、新たに二作品を加えました。既存の作品とあわせて、その世界をあらためてご覧いただければ幸いです。

紛争の影に覆われがちなイメージの向こうにある、もうひとつのイランの姿に思いを巡らせる機会となることを願っています。



「サン・チルドレン」

上映スケジュール

6月9日(火)

14:30 バデュク (邦題:バダック、砂漠の少年) (89分/35mm)

16:30 父 (92分/35mm)

18:30 バラン (邦題:少女の髪どめ) (100分/35mm)

6月10日(水)

14:20 裸足でヘラートまで (65分/デジタル)
僕らのオリンピック (5分/デジタル)

16:00 柳の木のように (97分/35mm)

18:00 預言者ムハンマド (178分版/デジタル)

6月11日(木)

14:50 サン・チルドレン (99分/デジタル)

17:00 バラン (邦題:少女の髪どめ) (100分/35mm)

19:00 裸足でヘラートまで (65分/デジタル)
僕らのオリンピック (5分/デジタル)

6月12日(金)

15:00 柳の木のように (97分/35mm)

17:00 父 (92分/35mm)

19:00 バデュク (邦題:バダック、砂漠の少年) (89分/35mm)

6月13日(土)

13:00 預言者ムハンマド (178分版/デジタル)

16:30 サン・チルドレン (99分/デジタル)

18:30- トーク:マジッド・マジディ監督
(オンライン) = 予定
司会: 石坂健治
(日本映像学会アジア映画研究会代表)

※全作品日本語字幕

※トークは本特集のチケットをお持ちの方はご入場になれます。

※先着順/入替制(チケットは1回目の上映30分前から当日上映分を販売いたします。)

●入場料

1回券=一般1,500円/シニア・学生・障がい者
1,200円/アテネ・フランセ文化センター会員
1,000円
3回券=一般・シニア・学生・障がい者・会員共通
3,000円

「柳の木のように」



■会場&お問合せ

アテネ・フランセ文化センター (御茶ノ水)

東京都千代田区神田駿河台2-11 アテネ・フランセ4階

(JR/地下鉄 御茶ノ水・水道橋駅より徒歩7分)

TEL 03 (3291) 4339

(月曜13:00-17:00/火~土曜13:00-20:00)/日曜休館)

<https://athenee.net/culturalcenter/>

Email: infor@athenee.net

